

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3591500149		
法人名	医療法人社団生和会		
事業所名	グループホーム和み・福谷の森		
所在地	山口県周南市岡田町3番30号		
自己評価作成日	平成24年12月23日	評価結果市町受理日	平成25年8月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成25年1月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設から2年が経過し、地域行事への参加では自治会のご協力の下、季節行事(どんと焼きから始まり、運動会や夏祭り)などへの参加を行っています。買い物や散歩・ドライブといった外出もほぼ毎日されており、三食の食事も職員と一緒に楽しく作り召し上がっていただいています。
利用者の皆様が無理なく自然な形で「生活」に参加され、御自分の出来る力を発揮され、いつも笑いの絶えないホームです。自宅ではありませんが、「もう少しここに居てもいいかな」と感じていただけるよう職員一同支援させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

食事は三食とも事業所でつくっておられます。利用者の好みや希望を聞かれ、新鮮な食材を使って、買い物や食材の下ごしらえ、調理、食器洗い、テーブル拭きなど、利用者のできることを職員と一緒にしておられ、利用者と職員はゆっくり和やかに会話をしながら食事を楽しんでおられます。ゼリーやムースなどのおやつその他、飲み物はコーヒー、コーヒー牛乳、果実ジュース、野菜ジュース、熱いお茶、冷たいお茶の中から選べるようにされたり、月に一度は利用者の希望を聞いて、ラーメンや回転ずしなどを食べに行かれるなど、食事が楽しみなものになるように支援しておられます。食材の買い物や調理、後片付けなどの他、洗濯物たたみ、はたきかけ、新聞や雑誌を読んだり、囲碁、習字、かるたの札読み、はり絵、ぬり絵、落ち葉でのクリスマスツリーづくりや花の水やりなど、利用者の活躍できる場面をたくさんつくり、張合いや喜びのある日々が過ごせるように支援しておられます。職員間の仲の良いチームワークで、利用者のその人らしい暮らしを大切にされたケアを心がけておられ、利用者は穏やかで明るい表情で過ごされている様子が伺えました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域とのつながりの大切さをふまえて、理念を作成し掲示しており、地域の皆様のご理解を得ながら、地域行事への参加も行っている。	事業所独自の理念をつくり、基本方針とともに事業所内に掲示し、職員は理念を共有して、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会への加入を行うことで、地域の皆様から地域行事への参加の呼びかけもあり、利用者の皆さんの状況を踏まえた対応への協力を頂いている。	自治会に加入し、地域のどんど焼きや夏祭りに参加している。小学校の運動会では、利用者が参加できる種目があり、全員で楽しんでいるほか、保育園の運動会の見学に行くなど、地域の人と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設内の見学の受け入れは随時行っており、職場体験の導入について、近隣の学校へ呼びかけを行っている。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	ミーティング時に職員全員で考える機会を持ち、個別に個々のケアについて考え、全員で取り組んでいる。	評価の意義を理解したうえで、今年度は自己評価表を閲覧し、書ける項目を職員が書き込む形をとっており、ミーティングで話し合っ出た意見を、ユニットリーダー2人でまとめている。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催日を決め、自己評価・外部評価への取り組み状況について説明することで、地域行事への参加の取り組みの意義を理解して頂け、様々な行事への参加につながった。	2ヶ月に1回開催し、運営状況、利用状況、行事報告、外部評価の取り組み状況等について報告して、意見交換している。自治会長や民生委員から地域行事についての情報提供があり、利用者の参加につなげるなど、意見をサービスの向上に活かしている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から電話や直接の訪問を行い、運営推進会議でもホームの生活ぶりを見ていただき、協力体制につなげている。(ホーム行事参加の依頼等)	市担当課と、運営推進会議の他、電話や直接出向いて、相談して助言を得たり、情報交換するなど、協力関係を築いている。地域包括支援センターは、情報交換や相談をしている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について正しく理解し、利用者の皆様の状態を把握することで、支援で回避できる状況を職員で連携を図りながら作っている。	研修で学び、職員は正しく理解して、身体拘束をしないケアに努めている。スピーチロックについては、言葉かけの工夫や、日常のケアの中で職員同士で注意し合っている。玄関は施錠していない。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	一人の職員が抱え込まず、助けを求められる環境を整備し、困難事例に対してもお互いがアドバイスしあいながら、楽しく支援を行っている。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性があればご家族等に相談を行い、実際に制度を活用されているご家族も数名おられる。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約時には時間をゆつくりと持ち、不安や疑問を伺い納得されるまで説明を行っている。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内の相談窓口や、第三者委員を明記し、家族参加型行事への介護相談員の参加や、運営推進会議での意見交換など、外部者へ表せる機会を持ち意見や苦情について、ご家族の気持ちになり改善に努めるよう取り組んでいる。	毎月の利用料の請求時に家族の要望書を同封し、意見を聞く機会を設ける他、面会時、家族参加型行事時等で、意見や要望を聞いて、意見を運営に反映させている。介護相談員の訪問があり、利用者の意見を聞いている。苦情相談窓口、処理手続き、第三者委員を明示し、家族に周知している。玄関に意見箱を設置している。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は日勤者としても勤務し、月一回の定例会議やユニット会議で、職員の意見や提案を聞く機会を設け代表者へも常に報告を行い運営に反映している。	月1回の定例会議やユニット会議で、職員の意見を聞く機会を設けている他、管理者は日常の業務の中でも聞いている。職員の休憩時間の取り方や勤務時間の調整などの意見を反映させている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	タイムカードを導入し個々の勤務状況の把握や、職場環境の整備にて職員の負担軽減を図っている。様々な働き方(時間・業務内容)で個々の職員にあった条件の整備を行っている。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護専門職として、必要な基本的な研修は内外研修で勤務の一環で行っており、実践の中で発生するケアの問題点や、疑問点についてはその都度アドバイスが受けれる状況を作っており、ミーティングでも取り上げている。	外部研修は、情報を伝え、段階に応じて勤務の一環として参加の機会を提供している。受講後は報告書を提出し、毎月のカンファレンスで復命報告している。法人研修は、テーマを決め計画的に実施している。内部研修はミーティング時に実施している。新人研修はマンツーマンで行い、日常の業務の中で働きながら学べるように支援している。資格習得の支援もしている。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山口県グループホーム連絡会、周南・光地区の学習会への参加などでネットワークを広げ、勉強会を通してサービスの質の向上へつなげている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者やご家族のお話を時間をかけて伺い、不安なままの入所とならず、入所後もご自身の生活を保たれるように支援している。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご家族のお話をゆっくりと聞き入れ、双方が納得される信頼関係が築けるようにしている。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	問い合わせの段階から要望や状況を見極め、他サービスのご案内や、他グループホームの紹介など、適切に支援が受けれるようにしている。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者主体の生活の場となる状況を作り出し、持てる力を無理なく発揮できるよう支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	普段の生活の様子や、ご自身の望まれている ことなど現状を報告し、ご家族の協力の必要 性を説明しながらご協力の依頼を行っている。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも遠慮なく来所される雰囲気を作り、 住み慣れた町へのドライブなどを行っている。	家族や親せきの面会、近所の人や元職場の 同僚などの来訪、自宅周辺へのドライブ、墓 参り、法事や葬儀への出席、家族の協力を得 ての正月の外出や盆の帰省など、馴染みの 人や場所との関係が途切れないように支援し ている。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	職員が対話の架け橋を行うことや、ある程度 の見守りの中で、自然に利用者さん同士が 助け合う場面作りもできている。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先へのお見舞いや、その後の経過に合 わせたご家族の要望や、相談を聞き入れ、 必要あれば他サービスへの連絡を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	毎日の様子や言葉から本人の希望を感じと り、記録に残すことで職員が共有し、カンファ レンスの中で話し合いながら、出来るだけ本 人の意向に沿った支援を行っている。	利用者一人ひとりの日々の生活状況や状 態、言葉などを事業所独自の集計表に記録 し、毎月1回のカンファレンスで確認し、思い や意向の把握に努めている。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	ご家族や近親者からの情報のほかに、普段 の会話から見える生活歴等も大切にしてい る。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	前もって支援を行わず状況を見極め対応し 記録に残していくことで、全職員の情報共有 につながっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスや、本人の状況や家族の意見を取り入れながら介護計画を作成している。	毎月カンファレンスを開催し、利用者の担当職員や計画担当者を中心に、家族や主治医の意見を参考にして話し合い、介護計画を作成している。6か月毎に見直している。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・日誌の記入を行い、日々の状況の変化を把握し早々に対応出来るようにしている。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方のご家族の泊り対応や、個々の希望を取り入れ、ご家族と共に職員が同行し自宅で過ごせる時間を作ることも行った。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別の買い物への同行や、地区の行事参加などを行った。		
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域に密着した主治医への受診や必要時の往診など適切に医療が受けれるよう支援を行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。他科受診は、家族の協力を得て支援している。皮膚科の往診もある他、受診結果を家族と共有している。法人の看護師との連携や緊急時の対応があるなど、適切な医療が受けられるように支援している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師や、かかりつけ医の看護師との連携により、適切な医療が受けれる支援を行っている。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時から退院後の対応について、同法人内の病院相談員と連携を図り、本人・ご家族が安心して治療に専念できる体制を整えている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ほぼ寝たきりの利用者の方もおられ、主治医の往診対応など24時間体制で医療が受けられる状況を作るなど、個別にこれからの状況に合わせた話し合いの場を持ち、ご家族の意見を都度聞いている。	事業所でできる対応について契約時に家族に説明している。実際に重度化した場合には、家族、医師、関係者と話し合い、法人内の医療機関への移設も含めて、方針を共有して、支援に取り組んでいる。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	少しひやりとしたこともヒヤリハット報告書を提出し、都度対応や支援について早々に反しあっている。救急時の対応についてもカンファレンス時には再確認している。	ヒヤリハット・事故報告書に記録し、その時の職員で話し合い、後日のミーティングで検討して、一人ひとりの事故防止に取り組んでいる。消防署の協力を得て救急救命講習を受講する他、カンファレンス時に事例を基に研修をしているが、全職員が実践力を身につけるための定期的な訓練の実施には至っていない。	・全職員が実践職を身につけるための応急手当や初期対応の定期的訓練の実施
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した防災訓練を行い、避難方法については、すぐに行動できるよう図で表記したものを目につきやすい場所に張り出している。防災訓練への地位住民への参加依頼を行っているが、時間が合わず実践へはつながっていない。	年1回、消防署の協力を得て、消火訓練を実施し、年2回事業所独自で、避難訓練を実施している。地域との協力体制は築いていない。	・地域との協力体制の構築
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	普段から利用者さんの状態に合わせ、誇りやプライバシーを損ねない支援を行っている。	内部研修で学び、職員は理解して、親しき仲にも礼儀ありを常に意識しながら、利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない声かけや対応をしている。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方が選択できる状況を作り、自己決定を妨げない支援を行っている。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の方の状況は日々違うため、その時々に合わせて、自然に無理なく対応している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の洋服が同じものにならないよう、アドバースを楽しんだり、何気なく整容の声掛けを行うなっている。		
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立から片付け迄楽しく行えるよう、雰囲気作りを行ったり、時間をかけ一緒に会話を楽しみながら食事をしている。	献立は特に決めず、利用者の好みや希望を聞いて、新鮮な食材を使って、三食とも事業所で食事づくりをしている。利用者は、買い物、食材の下ごしらえ、調理、味付け、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い、テーブル拭きなど、できることを職員と一緒にしている。ゼリーやプリン、ムースなどのおやつその他、飲み物はコーヒー牛乳、コーヒー、果実ジュース、野菜ジュース、熱いお茶、冷たいお茶の中から選べるようにしている。バイキング形式の食事にしたり、月に1度は利用者の希望を聞いて、回転ずしやラーメンを食べに行くなど、食事が楽しめるように支援している。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別に状況を把握し、個別に食事形態を替え適度な栄養・水分摂取が行えるよう支援している。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを個別に行い、義歯使用者は每晚預かり消毒を行っている。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排せつ時間をグラフ上に記入し個別の排泄パターンを把握し、適宜支援を行っている。尿意・便意の訴えない利用者へも定期的なトイレ介助を行うことで失禁の減少へも繋がっている。	個人集計表を活用して、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導で、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や適度な水分摂取・朝の清掃時の運動や散歩などを行い、自然排便へつながるよう支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一日を通し無理なく清潔が保て、入湯困難な方も複数の職員で対応することにより、満足される入浴になっている。	日曜日以外は、毎日、いつでも入浴可能で、利用者の希望にそって、ゆっくり時間をかけて入浴を楽しめるように支援している。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中を楽しく体を動かし、自然に睡眠につながるよう支援している。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	情報提供書をファイルし、カンファレンスでも服薬変更や服薬時の状態変化などの情報を職員に通達することで把握できている。服薬からくる状態変化についても都度報告している。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中では、得意なことに無理なく参加され、様々な行事を行い楽しまれている。	編み物、ボタンつけ、囲碁、設計図引き、習字、かるたの札読み、新聞を読む、雑誌を読む、テレビ視聴、歌を歌う、洗濯物たたみ、モップ掃除、はたきかけ、ぬり絵、貼り紙、落ち葉でのクリスマスツリーづくり、折り紙、食材の下ごしらえ、調理、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い、テーブル吹き、花の水やり、草取りなど、活躍できる場面をつくり、楽しみごとや気分転換等の支援をしている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日中の支援の工夫により個別対応を可能にし、地区行事へは、地域の方やご家族の協力も得ながら運動会や夏祭りへ参加することが出来た。	近隣への散歩や事業所周りの掃除、食材や日用品の買い物、少人数でのドライブ(錦帯橋等)、初詣、りんご狩り、個別の自宅訪問など、戸外に出かけられるように支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があればご家族のご理解の中、許される金額をもたれている利用者の方もおられる。買い物時には財布から支払いをされることもあり、その際にはご家族へ報告行っている。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話や手紙のやり取りが行えるよう支援している。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の皆さんのこだわりもあり、自然に座る場所もできている。日向ぼっこなど窓辺に椅子を移動し職員と穏やかな時間も過ごされている。	共用空間は明るく、広々として、テレビ、テーブル、ソファ、椅子などを配置し、いつも窓辺で過ごす利用者のためにベンチを置いたり、一段高い位置に畳の間を設け、腰かけて雑談できる場を設けて、一人ひとりの居場所づくりをしている。温度、湿度、換気、音に配慮し、居心地良く過ごせるような工夫をしている。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いの場所へ移動され、仲の良い利用者さんへ声を掛け、利用者さん同士の居室への訪室をされる状況作りも行っている。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自身の生活空間づくりの為に、利用者さんの状況に合わせ、自宅からの物品の持ち込みなどをされている。鉢植などは職員と共に水やりなど行っている。	テレビ、椅子、ソファ、テーブル、化粧水、造花、帽子等、使い慣れたものや好みのものを持ち込み、家族の写真、時計、カレンダーを置いて居心地良く過ごせるように工夫している。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別に床にクッションマットを引いたり、必要があればご家族・本人の了承を得て居室の変更を行うなど、安全に生活できるよう支援している。		

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム和み 福谷の森

作成日： 平成 24年 12月 23日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	15	緊急時の対応については、マニュアル作成や定期的に訓練行っているが、新人職員の入職もあり対応に不安を感じる職員もいる。	緊急時の対応がどの職員も実践できる。	※ 毎月カンファレンス時、事例に基づき研修を行う。(3か月後も継続) ※ 普通救命講習の受講	3ヶ月
2	36	防災訓練への地域住民の参加が行えていない。	災害時に地域の方の協力が得られる。	※ 運営推進会議時に防災訓練を開催し、参加しやすい状況を作る。 ※ 参加後の意見交流。	2ヶ月
3	20	利用者の方の要望やご希望には、ご家族のご協力が不可欠な場合もあるのが現状である。状況などについては、来所時や毎月の報告で行っており、利用者の方をご家族にとっても、無理がなく一緒に支える関係を築きたい。	全入居者の方のご家族との信頼関係の構築。	※ ホームへの要望を伝えやすい状況作り。(アンケートの依頼) ※ 運営推進会議への参加の依頼。 ※ 自己評価・外部評価の活用。	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。